

2018年3月9日
(米国時間3月8日)
マツダ株式会社
トヨタ自動車株式会社

マツダとトヨタ、米国合弁新会社 「Mazda Toyota Manufacturing, U.S.A., Inc.」を設立

- ・年間生産能力 30 万台の完成車生産工場をアラバマ州ハンツビル市に建設
- ・2021 年の稼働開始に向けて、16 億米ドルを投資、約 4000 名を雇用

マツダ株式会社(以下、マツダ)とトヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ)は、米国アラバマ州ハンツビル市において 2021 年より完成車生産を行う合弁新会社「Mazda Toyota Manufacturing, U.S.A., Inc.」(以下、MTMUS)を設立いたしました。

両社が折半出資で約 16 億米ドルを投資する新工場は、4000 名近くの従業員を新たに雇用し、2021 年の稼働開始以降、マツダ・トヨタ向けの各生産ラインで、マツダが北米市場に新導入するクロスオーバーモデルとトヨタの「カローラ」を 15 万台ずつ生産する予定です。

MTMUS の President に就任するマツダ執行役員の相原 真志は、「私たちは MTMUS を、地域の皆様から末永く愛される工場にしたいと考えています。マツダとトヨタの技術や企業風土などの強みを融合させることで、高品質なクルマを生産するだけでなく、従業員が働くことに誇りを感じる工場をつくり、地域経済ならびに自動車産業のさらなる発展に貢献してまいります。そして MTMUS で製造されたクルマが、移動手段の枠を超えて、お客様のライフスタイルをさらに彩り豊かにする存在になるものと願っています」と述べました。

MTMUS の Executive Vice President となるトヨタ常務理事の籠橋 寛典は「トヨタの 11 か所目の米国生産拠点となる MTMUS は、私たちの米国への継続的なコミットメントを象徴するだけでなく、米国生産事業の競争力向上のカギとなる工場です。トヨタとマツダのモノづくりに関する知見を持ち寄り、合弁事業のシナジーを生み出すことで、高い競争力を誇る工場を実現し、お客様に優れた品質のクルマをお届けしていきます。そして、ホームタウンの方々から愛される『町いちばん』の工場づくりに取り組んでまいります」と語りました。

今後、アラバマ州とハンツビル市の協力のもと、合弁新工場敷地の造成を進め、2019 年以降、本格的な建設を進めていく予定です。

【Mazda Toyota Manufacturing, U.S.A., Inc.概要】

会社名	Mazda Toyota Manufacturing, U.S.A., Inc. (MTMUS)
所在地	アラバマ州ハンツビル市
出資比率	マツダ株式会社 50%、トヨタ自動車株式会社 50%
設立時期	2018 年 3 月 1 日
President Executive Vice President	President: 相原 真志(マツダ株式会社 執行役員) Executive Vice President: 籠橋 寛典(トヨタ自動車株式会社 常務理事)
生産能力	30 万台／年(マツダ・トヨタ各 15 万台)
生産車種	マツダ: 北米市場に新導入するクロスオーバーモデル トヨタ: カローラ
生産開始	2021 年
従業員数	4,000 名程度

以 上